

露の反「LGBTQ プロパガンダ」法がプーチンによって署名される

新法による命令：誰でも、非伝統的性関係、ペドフィリア、ジェンダー転換を推奨する者に科料

RT

December 5, 2022



ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、新法に署名し、「LGBTQ プロパガンダ」を完全に禁止した。これは非伝統的性関係、ペドフィリア、それにジェンダー転換を、現実的に推奨する配布物を有罪とするものである。この法はまた、外国人の違反者を、ロシアから追放する条項を含んでいる。

プーチンはこの法案に月曜日に署名し、これによって、先月末からのロシア議会の上下両院によって承認された。

この法は何を禁止するか？

この法は、「未成年者・成人」共に対する LGBTQ 資料の散布を禁じ、「メディア、インターネット、文学作品、映画」にも適用される、と先月、連邦議会から発せられた声明文は言っている。

禁止された内容は、非伝統的性関係やその好みの行動、ペドフィリア、ジェンダー転換を推奨するものを含んでいる。

また広告も含まれており、非伝統的性関係や好みの行動、ペドフィリア、ジェンダー転換を描くものも、この法で禁止される。

違反者はどのように処罰されるか？

この新しい法律を破る者には、個人に対しては、40万ルーブル（6,600ドル）までの、団体に対しては、400万ルーブル（6万6000ドル）までの料金が課せられる。また外国の違反者はロシアから追放される。

この法案が連邦議会で何度か検討されている間に、議員たちは修正案を提出し、犯罪を繰り返す者たちに対しては、もっと厳しい罰則を要求した。

これは、これまでの法律とどう違うか？

2013年の法律が、LGBTQ資料の分配を未成年者に対して禁止したのに対し、新しい法はこの禁止を、すべての年齢層に拡大しており、ペドフィリアやジェンダー転換に対する内容まで含ませている。これは、それ以前の法案では、はっきり規制されていなかったものである。

ロシアは西側の批判にどう応えたか？

「平等権利連盟」と名乗る、ほとんど西側の、33国家のグループがモスクワを非難し、これはLGBTQの人々の間に「恐怖と脅しの風土」を創り出し、「ロシアのすべての人々の人権を抑圧する」ものだと言ってきた。

アメリカ国務長官アントニー・ブリンケンは、この法律を、「ロシアのLGBTQI+の人々の、表現の自由と人権に対する、また一つの由々しい打撃である」と評した。

ワシントンのロシア大使館は、ブリンケンのこの声明を「我々の内政問題に対する露骨な干渉である」と非難し、「ロシアは首尾一貫して、伝統的な家族の価値を保護する立場を取るもので、アメリカに導かれた、他国の人権についての、似非リベラルの、歪められた考え方を押し付けようとする、西側諸国の試み」を拒否するものだとつけ加えた。

[Gretchain 訳注]

これはプーチンと彼の指導するロシアの、常に変わらず強調する考えである。彼は「ヴァルダイ討論会」と呼ばれる、ロシア連合の会議でも、アメリカと西側を非難するとい

うより、ロシアの若者が、このような風潮の影響を受けて墮落することを、いつも心配している。そして「**伝統的な家庭の価値**」を強調する。

ブリンケン氏は、よほどものが見えないか、言わされているのか知らないが、今、アメリカが（武力などでなく）これによって滅びようとしていることに、気づいていないように見える。この左翼の墮落思想が、何よりも強力な命取りとして働くだろう。何度も言っているように、神を否定して中立を通すことはできない。神を否定すれば、その途端に悪魔が入ってくる。ドストエフスキーは、「神と永世（死後の魂の継続）を否定すれば、あらゆる犯罪が許される」と言った。我々は、確かに理屈ではそうだと思った。しかし、良心という歯止めがあるではないか、と密かに思った。我々は間違っていた。今アメリカは、まるで劇場で見るように、性的秩序破壊の最たるもの、ペドフィリアによって滅びつつある。そしてこのことをプーチンは知っていた。

関連する SOTN の記事を付録として載せておく：——

今、世界で断然、最も危険な人間は・・・

アメリカの愛国者である

SOTN

December 3, 2022

しかしなぜ？

なぜなら、真に保守的なアメリカのキリスト教徒の男や女は、確実に愛国者である。

そして、ほとんどの愛国者は、よく訓練された**銃保持者**である。

愛国者は、激しく**反グローバリスト**である。

愛国者は、**プロ・ライフ**であり、熱烈に胎児殺しに反対する。

愛国者は、見え透いた**気象変動詐欺**に気づいている。

愛国者は、**LGBTQIA アジェンダ**を忌み嫌っている。

愛国者は、文化マルクス主義をもっと軽蔑している。

愛国者は、特に、子どもたちの**性的関心付け** (sexualization) を憎む。

愛国者は、有害な**子供へのワクチン接種計画**を憎悪する。

愛国者は、社会を破壊する**批判的人種理論** (CRT) を完全に拒否する。

愛国者は、**大学教育が**、いかに危険なものになったかを認識している。

愛国者は、アメリカの学校児童を、**ヒトラー青年団や共産主義青年団**のようなキャンプに入れ、社会的に人間改造をする、高度に組織的なプロットを、よく知っている。

愛国者は、政府や企業による、**タヴィストック・レベルの、マインドコントロール計画**が、四六時中続いていることの、本当の深さや幅をさえ把握している。

愛国者は、**主流メディア**を、プロパガンダや誤魔化しの機関として受け止め、一貫して、フェイクニュース以外の何も産み出さないと考えている。

愛国者は、「**すべての生命が大切**」 All Lives Matter だと、心から信じている。

愛国者は、**黒人人権運動 (Black Lives Matter)** や「**アンティファ**」を、ソロス資金による、民主党指導の、国内テロリスト組織だと知っている。

愛国者は、**法と秩序**を支持する。

愛国者は、**警察の廃止**に反対する。

愛国者は、**現大統領ジョー・バイデン**というペテン師が、2022年の選挙を平然と盗み、もし彼が立つなら、2024年にも再び同じことをすること知っている。

愛国者は、**ハンター・バイデン**の国際犯罪の波が、彼自身の**ラップトップ**によれば、彼の公職性と企業メディアによって犯罪的に隠ぺいされ、彼の共犯者の父が、ホワイトハウスに不当に関与したことを知っている。

愛国者は、**MAGA-1月6日抗議**が、FBI-CIA ブラック作戦によって乗っ取られ、民主党心理作戦として利用されたことを知っている。

愛国者は、共産党に支配された**民主党と RINO**（名だけの共和党）が、アメリカ共和党を永遠に廃止したがつていることを知っている。

愛国者は、**JFK** が、イスラエルのハザール陰謀団の命令で、**CIA** によって暗殺されたことを知っている。

愛国者は、**9・11** が、アメリカ政府スポンサーによる、同じハザール犯罪団によって実行された、**内部犯行**であることを知っている。

愛国者は、**国連、WHO、WEF**（世界経済フォーラム）を、きわめて悪質なグローバル組織と見ており、彼らの第一の使命は、アメリカ合衆国の破壊であると考えている。

愛国者はまた、アメリカ政府の政治家の大多数、ハリウッドの有名人たち、プロスポーツ・」スター、音楽界のアイコン、その他、いわゆるVIPが、アメリカ人民の敵であると見ている。

愛国者は、シオニスト・アングロ-アメリカンの、コロナウィルスではない、**COVID-19 生物兵器**の複雑さを理解している。

愛国者は、高度に兵器化された**COVID「ワクチン」**に決して屈することはない。

愛国者は今、すべての**mRNA「ワクチン」**は、きわめて恐ろしく危険であることを知っている。

愛国者は、非常に危険な**ビッグ・ファーマのドラッグ・カルテル**に対し、健全な恐怖をもっている。

愛国者は、**軍=産コンプレックス**の極端な危険を理解している。

愛国者は、**連邦準備システム**は、外国の中央銀行カルテルの軛（くびき）だとして反対している。

愛国者は、**アメリカ連邦政府**が、彼らの怨敵となったことを知っており、**アメリカ嘘帝国**を完全に拒否している——

これがその理由である!!!

要するに、CIAの「モッキングバード」メディアは、実は陰からアメリカ共和国を支配する「ハザール陰謀団」Khazarian Cabalの指令のもとに、これらの真に偉大な人々を、「白いナショナリスト」として、軽蔑的なレッテルを貼ってきたのである——彼らが恐れることなく、断固として、このものを擁護しているために：——



おお、そしてついでに言うと、上にあげたリストは、「**アメリカの愛国者**」が真に擁護するもの、そして反対するものの、氷山の一角を紹介したに過ぎない。これこそ彼らが、人類の敵としてジェノサイドを図る、New World Order グローバリスト陰謀団の目には、ぞっとするほど危険である理由である。

[Greatchain 訳注]

なぜここに、プーチンについての記事の「付録」として、このようなものを載せたか？それはこのように、「アメリカの愛国者」として、アメリカすなわち人類の味方を、人類の敵と区別して条項立てるなら、それがそのまま、プーチンの立場であることがよくわかるからである。

バイデンのご機嫌をとって、プーチンを人類の敵として、それを人々に教え込もうとする、わが国の政府・メディア連合軍は、神を否定し、人類を墮落させようとする大悪人

どもである。彼らが連日、報道している宗教信仰者の献金問題でも、左翼無神論がその根底にあることが、よくわかる。プーチンは自国の兵士や将官たちを大量に戦死させても、この「アメリカの愛国者」の立場を貫こうとしている。これほどの強い姿勢がどこから出てくるのか？

そのカギは、最後の図に出てくる「**神——家族——祖国**」の表である。これがプーチンの優先順位であり、新法制定に現れた、彼の伝統的家庭重視の倫理観にはかならない。プーチンはロシア正教の信者であろう。しかし彼の立場は、インテリジェント・デザインと同じく、宗派を超えた普遍的「神観」であるはずである。ブリンケン米国務長官に倣って、我々もペドフィリアを解禁するのが上策なのか、わが国政府にお訊ねしたい。